



過ごしやすい季節になってきました。樹木の葉が色づいていたり、どんぐりを見つけたり、空を見上げるといろいろな形の雲が浮かんでいたり様々なところで秋を感じます。さつまいも・柿などの秋の味覚もあります。ご家庭でも子供たちといろいろな秋を見つけて、季節の移り変わりを様々な感覚を使って感じてみてはいかがでしょうか。

## ☆ 11・12月の予定 ☆

### 2学期末 保護者会

12月20日(水) 矢崎小保護者会 9:30~  
21日(木) 南町小保護者会 9:30~  
22日(金) 住吉小保護者会 9:30~  
※別紙出欠票をご提出ください。

11月9日(木) 指導なし  
11月10日(金) 指導なし  
11月21日(火) 住吉小振替指導日、矢崎小指導なし  
11月29日(水) 指導なし  
《2学期指導終了日》 12月18日(月)

### ひばりコラム③

## 「できないのは なまけているから？」

通室している子供たちには、できることとできないことの差が極端に大きい子が多くいます。

(例) Aくんの場合

- ・宿題をやりたがらない。
- ・字の間違いを指摘すると横柄な態度をとる。



「できるのに、なぜやらない」「真剣にやっていない」とイライラすることはないでしょうか。実は書くことが苦手で、かなりエネルギーをかけて集中して取り組まないといけないのかもしれません。

その理由として以下のようなことが考えられます。

- ・形をとらえることが苦手。
- ・手先の不器用さから鉛筆をうまく扱えない。
- ・眼球を上手に動かすことができず、書き写すことが難しい。

このような場合は、「しっかりと書きなさい!」と指摘するとますますやる気をなくしてしまうので、担任の先生と相談して時間を決めて行わせたり、量や内容の調整をしたりと自分なりの取り組み方から始めることをお勧めしています。

読み書きのことに限らず、「ひばり」の学習は子供たちのうまくいかない原因がどこにあるのか見立てて、環境調整や言葉かけを工夫しながら行います。その中で子供自身が自分の苦手さを受け止められるようにし、どの程度の助けがあるかといふ取り組み方を一緒に探しています。

ひばりで見つけた方法は、連絡ファイル等でお伝えしていきます。子供たちの苦手になっている部分を受け止め、一緒に改善していけるといいです。

☆ 11月学習予定 ☆ 以下の中から実態に合わせて選んで学習します。

	基礎的指導	発展的指導
小集団学習	<p>【発達段階を追った指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎他者を意識しよう 「絵合わせゲーム」</li> <li>◎非言語表現を読み取ろう 「ジェスチャークイズ」</li> <li>◎みんなで体を動かそう 「だるまさんの宝物」「長縄」「中当て」「しっぽ取り」「リラックスタイム」</li> </ul> <p>【即応的指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ソーシャルスキル 「ごめんね」</li> </ul>	<p>【発達段階を追った指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎みんなのことを想像しよう 「山手線ゲーム」「スリーヒントクイズ」</li> <li>◎言葉で伝えよう 「宇宙ステーション」「カタカナシー」</li> <li>◎協力してクリアしよう 「お話作り」「協力絵」「交換絵」「島渡り」</li> <li>◎一緒に気持ちよく体を動かそう 「風船バレー」「パスパスシュート」</li> </ul> <p>【即応的指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ソーシャルスキル 「こんなときどうする？」</li> </ul>
個別学習	・個に応じた学習	・個に応じた学習

☆ 10月の指導より ☆

**基礎的指導 ～負けの受け入れ～**

ゲームを始める前に、「ひばり」劇場で、負けてすねてゲームをやらなかつたり、怒ってサイコロを投げて場を離れてしまったりする場面を見せました。ゲームが続けられなくなって他の子が困っていることに気付いた子供たちは、どうしたらいいかを考えました。すると「切り替え言葉」が提案されました。

- ・まあいいか（次に勝つかもわからないからまあいいか、負けても楽しかったからまあいいか）
- ・勝負は時の運、失敗は成功のもと、負けるときもあれば勝つときもある

そして、「悔しい」と気持ちを言うのも一つの方法であることを教えました。



「ひばり劇場」の後はゲームで実践です。ゲームを始める前に、負けたらどうなりそうかを想像させておくのも手です。「怒っちゃうかも。」「怪獣になっちゃうかも。」と予想していた子供が案外、負けを受け入れて、楽しくゲームができました。「坊主めくり」は負けることに慣れるゲームとしてお勧めです。

**発展的指導 ～「ひばり」の目標（自己理解・他者理解）～**

令和5年度も半分を過ぎました。ここで、各自自分の目標を振り返り、何がどうできたのか、どうできなかったのかを考えました。「自己理解」を進めていくという話を



してあるので、どの子もしっかり自分に向き合っていて、立派でした。更に、後期の目標を教員と一緒に考え、それを発表しました。前期と同じ目標だけれど深めていく子、違う目標を定めて頑張る子それぞれです。後期は「自己理解」にプラスして「他者理解」もキーワードとしました。他の子がどんな目標で頑張るのかを聞いて、刺激を受け、お互いに高め合う仲間となってほしいと願っています。

**保護者参観ありがとうございました**

ひばりの授業はいかがでしたか？いつもと違う雰囲気の中、子供たちはとても頑張っていました。たくさん褒めてあげてください。学習内容や支援の仕方を実際に見ていただいたご感想やご質問などありましたら、遠慮なくお知らせください。